

野崎清六 のらき 美術史家。明治二十五年二月十日（百選賢齋生乳、昭和四十二年十一月十日）二日歿（九〇二一六）。昭和五年東京帝國大學文學部美術史學科卒。帝室博物館鑑本委員、東京國立博物館美術課長、學藝部長歴任。

著書『JAPANISCHE PLASTIK（日本の彫刻）』（昭和十七年二月十日國際觀光協會「JAPAN BÜCHEREI」）、『日本彫刻の美』（昭和十八年一月二十日小宮一書房）、『日本假面史』（昭和十八年九月十五日藝文書院）、『日本美術の認識』（東洋文化研究會編、昭和十九年十月二十日白雲書店、奇英出版株式會社「東洋文化叢書」）、『美を慕う者』一美を營む者』（昭和二十一年七月十五日朝日新聞東京本社）、金森澤著『日本彫刻史要』（編、昭和二十二年八月一日京都・高桐書院）、『偽物・眞物―美術鑑定二十年』（昭和二十九年十一月十日朝日新聞社「朝日文化手帖」）、『日本における外来文化』（合著、東京國立博物館監修、昭和二十二年十月二十五日吉川弘文館「博物館文化史講座」）、『むせとゆふとゆの』（昭和二十六年二月二十日朝日新聞社）等。